

# 委員会審査概要

## 総務水道常任委員会

◆職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

コロナが5類相当となり新型コロナウイルスインフルエンザ等対策特別措置法の位置づけとなったとき、防疫作業の特例とはどのような作業を想定しているか。

今後発生する作業について現段階では見込めない。人事院が認める作業などに照らし合わせ対象となる作業を判断する。

**賛成全員で可決**

◆一般会計補正予算

思いやり駐車場の整備、市内で何力所の整備になるか。それにかかる費用は。

市内35施設を整備、費用は総額で12001万1000円である。

財政調整基金繰入金の補正後の総額は、15億584万9000円である。

**賛成全員で可決**

◆一般会計決算

時間外勤務手当の増額の理由は。

市民課でのマイナンバーカード交付事務の増加、健康増進課でのワクチン接種事務の継続や特定検診業務、母子保健業務や各課でのイベント業務の再開、新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を活用した事業の事務量増加によるもの。

「マイチロ」の登録者数の推移は。

令和3年度末で1982名、令和4年度末で2290名となり、年々増加傾向にある。

職員研修について、中堅職

員が5〜6名で集まって発表を行っている」と聞いた。内容は。

課題発見能力や政策形成能力を高めていく研修となっている。令和4年度はSNSなどの情報発信について政策提言をしてもらった。

**賛成多数で認定**



委員会報告を行う戸田委員長

## 文教福祉常任委員会

◆一般会計補正予算

思いやり駐車場の整備について、予算計上がされている。どのような考え方が。また、効果についてどう考えるか。

県からの協力要請があり、合意した。不適切な利用を抑制し、利用者証を発行して本来に必要な人が利用しやすくなる。徐々に適正な利用が進んでくると思われる。

**賛成全員で可決**

◆一般会計決算

市内グループホームは12カ所、総定員67名となっている。今後予想される必要量と現在の差は、また、今後どのように計画していくのか。

来年度以降の障がい者計画・障がい福祉計画の策定にあたり、今年度実施した二一〇調査の結果を現在分析している。この結果を踏まえた数字を計画の中に盛り込んでいく予定である。

部活動の地域移行において、外部指導者は競技力向上のみを指導するという考えか。

これからは部活動指導員のみで指導する場面も出てくることから、競技力の向上のみならず、生徒の健全育成という観点も含めた採用を行わなくてはならない。

いじめについての認知件数、対応、出席停止を検討するような事案は。

いじめの認知件数は、小学生621件、中学生10件。ほぼ対応済み、解決済みの案件と聞いている。出席停止につながるような案件は聞いていない。

**賛成多数で認定**

◆国民健康保険決算

国民健康保険の負担が重い。今後の国民健康保険の見直しは。

国民健康保険の引上げについて